

本会議の事前配布資料の中に示されている事項に関し、下記のとおり意見を申し述べます。

## 1. 今後の進め方について

①次期中間処理施設の構想に関する検討を行う体制について。

ごみ処理基本計画の策定に基づき、次期中間処理施設に関する計画検討を進めるのが基本。

「ごみ処理基本計画」→「次期中間処理施設整備」の①基本構想（今回、立地が未定）

同 ②基本計画（立地決定後に作成）

同 ③基本設計→実施設計

②今回、「次期中間処理施設」の構想を検討する目的の明確化を。

○構想の検討目的

次期中間処理施設の候補地の募集・選出や比較検討に際し、あらかじめ施設の計画理念  
目標像・主要機能・立地条件等、可能な範囲で“**施設像**”の概要を示すことが必要。

それにより、

イ. 立地・用地の要件を明らかにし、候補地の選出や比較評価に資する。

ロ. 応募者や自治体、住民において、次期中間処理施設がどのようなものであり、特定  
の地域に立地した場合、まちづくりや周辺環境等にどのような効果や影響があるか、  
適切な知識が得られるようにする。

③公募について／個々の地域で「立地（誘致）構想」を提案できる提案型の公募方式導入を。

印西地域（2市1町）は、様々な特色を持った地域（ゾーン）で構成されている。

各地域において、次期中間処理施設を生かした独自の地域づくり・まちづくりが考えられる。したがって、施設誘致の企画提案を募る方法を併用することが有益と考える。

例示：（特徴あるゾーン）→（立地条件等を生かした様々な企画・提案が可能）

○利根川沿岸ゾーン：水と緑はCO<sub>2</sub>吸収源、風の道が大気拡散を促進、広大な空間  
→排煙（CO<sub>2</sub>）の環境影響を抑制。展望施設・ランドマーク。

○白井工業団地ゾーン：各種リサイクル・廃棄物処理施設が集積  
→地域のリサイクル拠点として相乗的な効果を期待。

○CNT都市軸ゾーン：人口集中、商業・業務施設が集積。開発区域内に未利用地が多い  
→都市施設等への熱供給など

○農村土地利用ゾーン：林地・農地はCO<sub>2</sub>（排煙）の吸収源。荒れた土地等の活用。  
→大規模ハウス園芸等への廃熱活用など

## 2. 「中間答申（又は中間報告）」を実施し、適時に構成市町・住民に情報提供を

ゴミ処理基本計画の検討経過や、次期中間処理施設の構想については、その検討成果の概要を中間答申として報告するとともに構成市町・住民に広報紙等で情報提供する。また同時に、住民の質問・意見等を募り、委員会での検討に反映することが望まれる。

実際に、構成市町や住民の理解・協力のもとで、公募や紹介あっせん等により候補地の選出がスムーズに行われるようにするには、その前にこうした中間答申に基づく情報提供等を適時・的確に行うことが肝要と思われる。

以上